

呉圏域における地域周産期母子医療センターの集約化・重点化について

1 要旨

適切な医療提供体制を確保するために、呉圏域における地域周産期母子医療センター（周産期に係る比較的高度な医療行為を常時行うことができる機能）の集約化・重点化を進める。

2 現状・背景

呉圏域における地域周産期母子医療センターは、呉医療センター及び中国労災病院の2カ所設置されているが、出生数や小児人口の減少が進む中で、地域周産期母子医療センターにおけるハイリスク妊娠の取扱数やNICU（新生児集中治療室）の利用率が低調となっている。

限られた医療資源の中で、集約化・重点化を進め、資源及び症例を集積することにより、医療の質の向上と安全性の確保につなげていく必要がある。

3 概要

（1）内容

呉圏域の地域周産期母子医療センターについて、救命救急センター機能や精神科を有し、合併症の妊産婦の救急など幅広い対応を行っている呉医療センターに集約化・重点化する。

現行	見直し後
○地域周産期母子医療センター <u>2カ所</u> ・呉医療センター（呉市青山町） ・中国労災病院（呉市広多賀谷）	○地域周産期母子医療センター <u>1カ所</u> ・呉医療センター（呉市青山町）

（2）時期

令和8年4月1日

【参考：妊産婦の合併症等への対応状況】

（人）

区 分	R 3 年度		R 4 年度		R 5 年度	
	呉医療C	中国労災	呉医療C	中国労災	呉医療C	中国労災
脳血管障害	1	0	1	0	1	0
急性心疾患	2	0	3	0	0	0
妊娠中の交通外傷など外傷患者対応	0	0	0	0	0	0
妊産婦の危機的産科出血等急性かつ重症患者対応	6	0	5	0	2	0
精神疾患	31	0	20	0	24	0
計	40	0	29	0	27	0

（厚労省「周産期医療体制に係る調査」より）

4 今後の対応

呉圏域の地域周産期母子医療センターの医療機能が低下しないよう、大学と連携し、人材確保等に取り組む。